

3 古墳とヤマト政権 a. 古墳の出現とヤマト政権

(p19~20)

①古墳とは… a. 3世紀後半~7世紀に現れた墳丘をもつ古い墓

表面を[1 **葺石**]で覆い、周囲に[2 **埴輪**]をめぐらせる。

内部には木棺や石棺をおさめた[3 **石室**]や粘土槨など埋葬施設がつくられる

②出現期古墳([4 **3**]世紀後半)

[5 **前方後円**]墳が中心、副葬品は[6 **銅鏡**]など→被葬者は[7 **呪術**]的性格を示す

大規模なものは[8 **大和**]地方が中心([b. **箸墓**]古墳など)

→この地方を中心とする政治連合([9 **ヤマト**]政権)の存在を示す。



共通な特徴([10 **前方後円墳**]・副葬品)を持つ古墳の分布の広がり→ c. 広域を支配する政治連合

③ヤマト政権成立をめぐるさまざまな考え

ア)「記、紀」による説(戦前、教えこまれた考え)…太陽の神である天照大神(アマテラスオオミカミ)の子孫のニギノミコトが日向の高千穂の峰におりたつた。そしてその子孫であるカムヤマトイワレヒコノミコトが東に向い、ナガスネヒコ、ツチグモなどをたおし大和に侵入、神武天皇として即位した。

イ)騎馬民族論…4世紀初頭、東北アジア系の騎馬民族の流れである南朝鮮の任那の王であった崇神天皇が九州北部に上陸して倭韓連合国を成立させ、これがしだいに力を伸ばし4世紀末から5世紀はじめにかけて応神天皇による畿内征服、大和政権成立となった。

→日本自体が朝鮮の植民地であって、日本国内のさまざまな対立は朝鮮半島の対立の反映であるとの見方もある

ウ)河内王朝説…河内に拠点をもつ仁徳天皇ら河内王朝が大和盆地に拠点をもつ崇神天皇の一族を倒した。

b. 前期・中期の古墳

③前期(出現期)古墳([11 **3**]世紀後半~4世紀)

[12 **前方後円**]墳が中心 単独に[d. **台地**]上などにつくられる

同じ形態のものが全国に存在→ e. 大和政権の影響力が日本全国に広がったことを示す

木棺・石棺をおさめた[13 **竪穴**]式石室→ f. 有力な個人を葬ることが目的

副葬品…銅鏡([14 **三角縁神獣鏡**]など)や碧玉製の腕輪・剣・玉など[15 **呪術**]的なものが多い
→被葬者の性格=[16 **司祭**]な存在

[17 **円筒**]埴輪が中心、家形埴輪や

④中期古墳(4世紀末~[18 **5**]世紀)

巨大な[19 **前方後円**]墳 [20 **平野**]の中に墳丘をもりあげ、濠をめぐらせる

副葬品…[21 **鉄製**]武具(剣、甲ちゆう)など[22 **武器**]が多くなる。[23 **馬具**]も増加
→被葬者の[24 **武人**]的性格のつよまり
鉄製工具、冠、金属装身具など朝鮮半島や中国伝来のもの→[g. **大陸**]との関係が強化

[25 **形象**]埴輪(家・動物・人物など)が増加

古墳の分布のひろがり…全国化(東北南部から九州南部へ)

[26 **毛野**](群馬)、[27 **丹後**](京都府北部)、[28 **吉備**](岡山)、[29 **日向**](宮崎)など集中
→有力な[30 **地方**]権力の存在(吉備の作山古墳など)

c. 古墳文化の変化

①後期古墳(5世紀末~[31 **7**]世紀)

[32 **横穴**]式石室(大陸型)が一般的に、小規模な円墳が大量に集中=[33 **群集墳**]の形式

副葬品…武具、馬具、装身具、土器など
→[h. **家族**]墓的性格がつよまる

葬られた人→権力者から[i. **有力農民**]などにうつる
、分布のひろがり(山間や離島など)

副葬品…[34 **日常生活具**]([35 **須恵**]器・[36 **土師**]器など)

人物・動物埴輪の増加(→j. 生前の姿を残そうとする)、[k. **装飾古墳**]なども出現